

《모든것을 아이들의 성장과 행복을 위하여》福岡朝鮮初級学校

～すべては子ども達の幸せと成長のために～

후쿠오카조선초급학교



みんなの豊かな感性 ★学校賞受賞★ 一人ひとりの頑張り

「手を洗おう、きれいな手！」ポスターコンクール2021 学校奨励賞(石鹸60個、記念品)
第46回「みどりの絵コンクール」 学校賞(図書カード1万円分)

学び続けることが子ども達を伸ばすことへ

ピジョン・エデュケーション
関明淑教員



見えてくる行動できる「見る力」を育む

児童発達支援士
孫智純教員



様々な子どもたちの能力を引き出すアプローチ

五感を働かせて学ぶことが大切！福岡ハッキョの子ども達は寒い冬に入っても元気いっぱいです！



みかん狩り(幼稚園)



朝鮮相撲大会(幼稚園)



交通安全教室・貝塚公園(幼稚園)



アイス調理(幼稚園)



ユチウオンのアツパ・オンマ手作りの、幸せを感じないクリスマス会(12/11)



オモニ会給食「チキンカツ」



南北ゴリアの友達と絵画を通じた交流(初級部)

ウリハッキョの強力サポーター！福岡地域青商会の給食



40期卒業生の女性幹事達も楽しそう



会長自ら奔走！(右)

李美悠先生は将来ウリユチウオンのソンセンニムに！応援してますよ



朝鮮大学校教育学科教育科2年
(北九州市八幡区)



ヘン班オモニたちの手作り弁当に感謝



担当の崔麗那先生とも息がぴったり

変わらぬ民族教育支援と子どもたちへの応援が続く

- ★金剛山歌劇団福岡公演実行委員会様より民族教育支援金170万円が贈られました。カムサハムニダ。
- ★九州青年商工会常任幹事・宋尚倫部長より福岡県下の全学生・園児・教職員にクリスマスプレゼント(モンシェールのクッキーとハンドクリームの詰め合わせ)が贈られました。カムサハムニダ。

ずっと残したい一枚の写真



良いお年をお迎えください

文化芸術発表会終了後の記念撮影

ソンセンニムも言わせて！～教育は大人が子どもに送るメッセージ～

「家庭」で民族を学んだ

家族は5人。父、母、姉、兄、そして末っ子の自分。

在日同胞が比較的多く住む金平団地で育った。

同胞の中には、3世、4世ともなると、日常生活では日本語を使う家庭が多いが、私の家ではウリマル(朝鮮語)を使うことが多かった。

この話をすると、「お父さんがソンセンニム(朝鮮学校の教員)だからね」とよく言われる。しかし、教員をしていた父は仕事のため、私が寝た後に帰ってきては、朝起きる前に家を出ていた。休みの日も部活指導のためほとんど家にはいなかった。なので、私は母と団地に住む同胞たちに囲まれて暮らしていたため、正直、父の存在はあまり影響していない(と思っている)。

父が生まれ育った団地で生まれたせいか、私を知らない人は少なかった。だから私に母は決まて「知っている人にも、知らない人にもちゃんとあいさつしなさい。」と口酸っぱく言っていた。

初めは母の見よう見まねで挨拶をしていた。近所のハルモニ(お婆ちゃん)は「ちゃんと挨拶できてえらいねえ」と褒めては、お裾分けをよくくれた。これがたまらなく嬉しかった。親がやらないと言った初めての挨拶ではあったが、周りの大人に褒められて、その積み重ねで自然と挨拶が身につくようになったような気がしてならない。

家では姉、兄の姿をまねながらいろいろな朝鮮語の挨拶も身に付けていった。「いただきます」、「ごちそうさま」、「行ってらっしゃい」、「おかえりなさい」、「おやすみなさい」、「ありがとう」等等。ケンカもたくさんしたけれど、やっぱり姉妹の影響は小さくはない。

初級学校からは、学校の先生から敬語を学ぶ。学校で学んだものを、厳格な祖母の「しごき」のおかげで習慣づけられていった。目上の人が呼んだら「はい」と返事して向うこと、配膳をする時は年長者もしくはお客さんから、物を受け取る時は両手で、人の家に行くと靴をそろえること…

昨今では躰や礼儀作法でも学校で教えることになっていると聞くと、私はそれらを徹底的に家庭環境で学んだ。

ウリマルもその一つだ。

ハッキョで学んだウリマルを家で話す過程で、自然と家族とウリマルで話すようになった。

私のオモニは気さくで、ユーモアがある人だ。一方的にウリマルで話しかけるのではなく、時折時代劇物や韓ドラに出てくる俳優や、ハッキョのソンセンニムの真似をしてみたり、時にはウリマルでツッコミをしたり、時には朝鮮各地の方言自慢をしながら楽しく教えてくれたりもした。

ハッキョもそうだが、家庭で「民族」を学んだと、今になって気づく私がいる。

これも道徳や風習を重んじる朝鮮民族の賜物だと感じる。と同時に、未来ある子どもたちを預かり育む責務を背負っている一人の大人として、自分自身の言動や振る舞いが子どもの視線からして道徳的で教養のあるものなのか、民族的かつ時代の趨勢に合っているのか、常に自分を省みながら生活をしている日々でもある。

私は子どもを取り巻く環境を創る、大人たちの言動が子ども達の成長を大きく左右することを肝に銘じながら、模範的な大人になれるよう努力を続けていきたい。

「希淳先生はとにかく明るい。いつも元気だ。走りが得意って知っていましたが？多分競ったら私より速いでしょう。彼女はまた家族思いだし、さりげないやさしさ、気遣いも持っている。いい意味で初級部の頃から変わらない純真さが、なお良い。」【カバ先生】

サラン 同胞助け合い運動(サランの募金運動) 29,958円
後援本部を通じて運動事務局に届けられ、苦しい生活状況にある同胞に手渡されます。ご協力くださった皆様にご挨拶申し上げます。カムサハムニダ。

福岡ハッキョ支援一口千円募金運動 月額1000円を目標に卒業生、同胞と世界に向け支援を呼びかけております。一人の100万円は大切、千人の1000円は素晴らしい。宜しくお願いします。

